

○第 137 回（令和 5 年 5 月 24 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
<p>1 IMAGINE THE FUTURE. Forum (仮称) 事業の基本計画について (案)</p>	<p>① Business to Academia という表現があるが、連携先の機関はアカデミアだけでなく、在つくばの国立研究開発法人等も含むのか。</p> <p>② カーボンニュートラルへの取り組みはあるか。</p> <p>③ 「オールつくば」という表現は排他的に受け取られる可能性もあるのではないか。</p> <p>④ 建物の外観を魅力的なものにできないか。</p> <p>⑤ もっと広報してはどうか。</p>	<p>① 当然に含むものと考えている。また、筑波研究学園都市の機関間の連携は課題であり、本事業はその解決のための方策のひとつと考えている。</p> <p>② 今回発行した大学債は、サステナビリティボンド・フレームワークとして、例えば SDGs に資する件研究や人材育成などを用途として発行したものである。建物についても、ZEB 認証を取得するなど環境に配慮したものになりたいと考えている。</p> <p>③ 連携先をつくばに限定する意図はなく、あくまで運営の主体を意図した表現であり、国内外の様々な機関との連携を想定している。</p> <p>④ 今後建物の設計に取り掛かるため、予算面の制約もあるが、魅力的なものになるよう検討したい。</p> <p>⑤ 広報が課題であることは自覚しており、昨年度から広報体制の改善を図っているところではあるが、引き続き努力していく。</p>
<p>2 Sport Complex for Tomorrow (仮称) 基本計画について (案)</p>	<p>(特になし)</p>	
<p>3 未来社会デザイン棟 (仮称) 基本計画 (案) について</p>	<p>① 芸術作品を展示することで、より建物の価値を高めることができるので検討いただきたい。</p> <p>② 審議 1 及び審議 2 の事業に比べ、本事業は年度</p>	<p>① 学内にリソースはあるため、今後詳細設計に入る際に予算面を考慮しつつ検討したい。</p> <p>② 事業やプロジェクトの新設や終了などを詳細</p>

	<p>ごとに単年度余剰金の差が大きい、どのような背景か。</p> <p>③ 地域コミュニティの拠点となるような建物にしていきたい。</p> <p>④ 1～3の各事業に共通して、大掛かりな事業であるだけに、リスク評価が必要である。経営戦略を専門とするコンサルタントの活用や、毎年度の継続的な評価と今後の対策を考える事業計画経営本部のような部署を設けてはどうか。また、人員計画の柔軟性が非常に大きな課題になると思われるため、経営戦略の中に人員供給の専門家も充実させていきたい。</p>	<p>にシミュレートした結果である。</p> <p>③ 学生団体等の発表の場なども計画しているが、「開かれた大学」を具現化するということが最終的な目的であるため、ご意見を参考に引き続き検討したい。</p> <p>④ 来年度にファイナンスを担う部署を設置する予定であり、そちらに各種プロフェッショナルを配置し対応していきたい。</p>
4 大学債発行により調達した資金により実施する事業と配分額について (案)	(特になし)	
5 令和6年度施設整備費概算要求事項 (案) について	(特になし)	
6 開発研究センターの設置期間短縮による終了について		
7 筑波大学公開講座規則の一部改正について		
8 附属桐丘特別支援学校 施設併設学級について	① 非常に有意義な事業であるため、クラウドファンディングの活用なども検討してはどうか。	① 恒常的な費用負担が必要であり、これ以上現状の形で継続することは経営上不可能である。心が痛むところではあるが、今の形では閉級とし

		たい。
--	--	-----

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 国際卓越研究大学への申請について	(特になし)	
2 令和4年度余裕金の運用実績等について	① 運用を行ううえで、大学債の金利 1.619%というのは、常に念頭に置いておく必要がある。また、国立大学は運用にあたりルールに縛られているが、その中で結果を出すためによく研究して取り組んでいただきたい。	① 承知した。来年度にファイナンスを担う部署を設置する予定であり、長期的な展望を持って資金調達と運用に当たりたい。
3 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について	(特になし)	
4 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について	(特になし)	
5 令和5年度学群及び大学院入学試験結果について	(特になし)	

○第138回（令和5年6月28日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和4年度財務諸表について	<p>① 国立大学は営利法人ではないが、経常収益のうち雑益において、どういうことができるのかをより積極的にご検討いただきたい。</p> <p>② 光熱水料や物価の高騰の影響等で大学は困っているかと思うが、実際にはどこにしわ寄せが</p>	<p>① 例えば、本学の特徴の一つとしてスポーツがあるが、スポンサーをつけてホームゲームを開催することで、社会に還元しつつ、収益を上げることができないかと考えている。その他にも方法はいろいろあると考えている。</p> <p>② 一番困っているのは個人研究費だと思われる。また、そのため外部資金を獲得しなければなら</p>

	<p>いっているのか。</p> <p>③ 筑波大学ではまだ人件費に手を付ける状況にはないと考えてよいのか。</p>	<p>ず、本来の研究教育業務以外に時間を使わざるを得ない状況になっている。</p> <p>③ 人件費を前期の終わりに流動化し、現在は配分し直している段階で、職員は削減しすぎたため、増やさなければならない状況である。教員の方は極力減らさない努力をしたが、流動化したことで部局によっては戻っていない。</p>
2 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の再申請について	<p>① 年25回という目標は、2040年までに欧米の年40回に追い付くために逆算して設定したということだが、2040年に欧米がさらに伸びていくという予測があるのではないか。</p>	<p>① ご指摘のとおり伸びる可能性はあると思うので、今後設定し直さなければならない可能性はあると思う。</p>

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 第219回教育研究評議会について	(特になし)	

○第139回(令和5年7月19日)

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 定年年齢の引上げについて	(特になし)	
2 特別貢献手当に関する就業規則の一部改正について	<p>① 特別貢献手当を支給する財源は、支給される者が外部から獲得する必要があるのか。</p> <p>② 優れた教員を大学に呼んでくるときにも利用できる制度なのか。</p>	<p>① 条件として明文化していないが、その通りである。</p> <p>② 卓越した教員を呼ぶ場合には、別の制度がある。</p>
3 「競争的研究費の直接経費から研究代表者(PI)の人件費の支出」に関する本学の取扱い等の改正について	(特になし)	

<p>4 東京地区等の職員宿舎の廃止について</p>	<p>① 常盤台は非常に資産価値の高い地区なので、単に民間に貸し出すだけでなく、活用方法を十分に考えていかないともらいたくない</p> <p>② 他大学では、古い学生宿舎の跡地を長期間の定期借地として高い金額で貸すことができた事例があったので参考にさせていただきたい。</p>	<p>① 常盤台については、総合開発の対象となる可能性等も見据えて慎重に検討したい。</p> <p>② 周辺の鉄道会社や銀行等の意向も調べながら、一番よい方法を検討したい。</p>
----------------------------	--	--

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
<p>1 評価指標の年次別目標値（マイルストーン）の修正について</p>	<p>① このような指標をどのように具体的な施策に落とし込むのかが一番ポイントになると思われるので、よく検討していただきたい。</p> <p>② 学生寮は筑波大学の特色の一つであるので、入居率の向上については頑張っていただきたいが、学生寮が古い等の問題はあるのか。また、令和 8 年度以前は学生寮に空きがある見込みのようだが、春休みや冬休みに、合宿をしながら、学生が高校生に教えるといった高大接続につながるようなイベントをすることはできないか。</p> <p>③ 卒業生向けの情報発信は重要であり、そのために卒業生がどこにいて、どんな企業に勤めているのかを把握することが重要ではないか。</p> <p>④ 単位取得を伴う海外留学については、今の国際情勢や円安の影響を考えると下方修正された目標値でも厳しいように思われるが、オンライ</p>	<p>① ご指摘の通りで、役員等でその打ち合わせを行うことを予定している。</p> <p>② PFIによる学生宿舎のリニューアルを行った事例があり、その入居率は抜群に高くなっている。最終的には、PFI で全部をリニューアルする予定としている。また、学生生活において一番大切なのは寮だと言う卒業生が多くおり、通いの学生も必ず何か月かは寮生活を経験するプログラムを作ろうとしている。また、空いているところは、学会等での来訪者に貸すことも検討している。</p> <p>③ 卒業生に情報発信できる体制を作るために、現在、各教育組織の同窓会の情報を集めているところである。</p> <p>④ オンラインで単位を履修できるような科目を増やそうと努力しており、例えばオハイオ州立大学とオンラインでお互いの科目を履修し合</p>

	ンによる履修を増やすといった施策をしているのか。	うような仕組みを新しく立ち上げようと進めている。
2 筑波会議 2023 の概要について	(特になし)	

○第 140 回 (令和 5 年 9 月 20 日)

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu コアリションへの加入について	<p>① 1口分だけのマシンタイムの割り当てで十分なのか。学内の需要があれば2口にしてもよいのではないか。</p> <p>② 経営協議会への付議がこのタイミングになったことに何か理由はあるのか。</p>	<p>① ほとんどの機関が1口で加入している状況であり、それ以上になるとマシンタイムがオーバーフローすることが懸念されている。2口にしてもユーザービリティはあまり上がらないと思われる。</p> <p>② 学内の他の会議において意見交換や審議を行っていたためである。</p>

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等の更新について	<p>① 資料3 ページ目の「30代の若手や女性等の多様な属性を持つ教員」の「多様な属性」で意図していることは何か。</p> <p>② このような取り組みはよいが、問題のない大学は毎年実施するのではなく、頻度を減らして省力化してもよいのではないか。</p> <p>③ 「あらゆる意味において『開かれた大学』』という言葉が数回で使われているが、「あらゆる意味において」の意味が分かりにくいので、言葉を補った方がよいのではないか。</p>	<p>① LGBT等を含めるという意図だと思われるが、分りにくいので表現を検討する。</p> <p>② 意見は承知した。報告書の中に記載するかは検討したい</p> <p>③ 「あらゆる意味において」をどう解釈するかはその時々大学のありようが反映すると考えている。現在、あらゆる意味でというのは、字義どおりの意味で、学問分野の壁や国、組織体等のバリアのあるところは全部という意味で使っている。</p>

2 令和6年度国立大学法人運営費交付金等概算要求について	① 通らなかったものの中に陽子線医学利用研究センターの体制整備がある。東京都等では陽子線に非常に力を入れているような中で、なぜ通らなかったのか。	① 物価や材料の問題等で新しい機械の導入が遅れており、研究の内容が革新できないことが理由と思われる。
3 学際サイエンス・デザイン専門学群(マレーシア海外分校)意見伺いの結果について	(特になし)	
4 開発研究センターの評価結果について	(特になし)	
5 第220回及び第221回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	① 国際卓越研究大学制度の公募結果が出たが、再度申請するのか、議論はどこまで進んでいるのか。	① すでに研究組織の長との会合や執行部でも意見交換を行い、再度申請する方針となっている。

○第141回(令和5年11月22日)

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 理事(非常勤)の任命について	(特になし)	
2 令和5年度余裕金の運用実績等(上半期)について	① 運用について、金額等の制限はあるのか。	① 商品による規制はあるが、金額の規制はない。また、指定国立大学や個別に認定を受けると少し弾力的な運用が可能となる。
3 筑波大学統合報告書2023の作成・公表について	① 最近の傾向として、民間企業では、SDGsや環境に関する記載の量を増やしている。 ② 印刷部数を増やし他方がよいのではないか。 ③ 研究等の成果をもう少しPRできるとよいので	① 次年度の参考とさせていただきたい。 ② コストパフォーマンスも踏まえて検討したい。また、筑波大学のホームページでも、より多くの方に閲覧してもらえるように工夫したい。 ③ 意見について承知した。

	<p>はないか。</p> <p>④ 「“GLOBAL TRUST”の創出を目指して」と“DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.”の2つの標語を使用しているが、どちらを大きく掲げるのか。</p>	<p>④ 本報告書は「筑波大学 Vision2030」に基づいて作成している。“DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.”は50周年に当たり、より大きなメッセージとして作成したものである。</p>
4 令和4年度実績に係る組織評価の結果について	(特になし)	
5 定量的評価指標に基づく組織評価結果による資源の配分について	<p>① 系やセンターの性格によって、公平に評価することは難しいと思われるが、何か工夫をしているのか。</p> <p>② 企業でも量的な評価だけでなく、質的評価が重要になっているが、今後の取り組みについて考えていることはあるか。</p> <p>③ 配分される組織からすると、配分額のインパクトが大きくないのではないか。</p>	<p>① 絶対数に加えて、伸び率も重視している。</p> <p>② 質的評価の方法については、研究組織の長に意見を聞いているところである。また、ピア・レビューを行いたいと考えている。</p> <p>③ 配分額について検討が必要だとは考えているが、現在は光熱費の高騰等の影響で予算に余裕がない状況のため、控えている。余裕が出てきたときのことを考えたい。</p>
6 学際サイエンス・デザイン専門学群準備委員会の設置について	(特になし)	
7 ヒューマン・スマートシティ研究機構の設置について	(特になし)	
8 第222回及び第223回教育研究評議会報告について	(特になし)	

○第142回(令和5年12月27日)

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 役員等の報酬について	(特になし)	



2 国家公務員の給与改定を踏まえた本学の対応について	① 授業料の値上げは行わないのか。 ② 非常勤職員の単価はどれくらい上げる予定か。 ③ 筑波大学の非常勤職員の単価が他の研究機関等と比べて安いとの説明があったが、その理由は何か。	① 授業料については、教育目的で明確な目的がある場合には値上げすることが可能であるが、職員の給与に使用することはできないと考えている。 ② 市内機関の非常勤職員と同程度まで上げることを検討している。 ③ 国の給与基準に準じて単価を定めているためである。
----------------------------	---	--

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和5年度「中間決算」について	(特になし)	
2 開発研究センターの審査結果について	(特になし)	
3 第224回教育研究評議会報告について	(特になし)	

○第143回(令和6年1月24日)

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 中期計画の変更について	(特になし)	
2 令和6事業年度における新規の長期借入金及び償還計画について	① 附属病院が最終的に赤字になった場合はどうするのか。	① 大学として補填するしかない。医師の働き方改革と人事院勧告の影響が大きい。
3 令和5年度学内補正予算(案)について	① 大学債関連事業はすべて大学債で賄うのではないのか。運営費交付金を使用するのはなぜか。	① 大学債については、それぞれの事業において使い道が決まっているため、想定外の自由が生じた場合には運営費交付金で負担することがあ

		る。また、初めから大学債だけでなく自己資金も使用する予定としていた事業もある。
4 就業規則の改正について	(特になし)	
5 新たな職の区分(専門職業職員)の設定について	① 新たな職の区分に該当する者はどれくらいの人数が見込まれるのか。	① 詳細はまだ分からないが、職種が既に 35 種類程度あり、合計で 100 名以上が見込まれている。
6 労働基準法施行規則等の改正に伴う就業規則の一部改正等について	(特になし)	
7 学際サイエンス・デザイン専門学群及びマレーシア海外教育拠点支援室設置に係る法人規則等の改正・新規制定について	<p>① マレーシア校の Chief Executive は非常に重要だと思われるので、任期が 1 年というのは短いのではないか。</p> <p>② 海外教育拠点支援室は他の学群の事務組織の構成とは異なるのか。</p> <p>③ 筑波大学の建学時の構想では、いわゆる学部事務室のようなものは置かずに本部で一括管理するシステムだったと思うが変わったのか。</p> <p>④ 専門学群長は海外教育拠点支援室に指揮命令できるのか。</p>	<p>① 副学長や大学執行役員の任期と合わせて、1 年としているが、複数年継続してもらうことを前提としている。</p> <p>② 東京キャンパスの社会人大学院等支援室と同様につくばの地から離れている特別な役割を果たす支援室として法人規則上に海外教育拠点支援室というカテゴリーを新しく作っている。</p> <p>③ 理念としては引き継がれている。海外教育拠点支援室もエリア支援室と同じく本部の事務組織とつながっている形になっている。</p> <p>④ Chief Executive が管理・運営の長、専門学群長は教育に関する長と整理している。</p>
8 研究戦略イニシアティブ推進機構の改組について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
------	-----------	---------

1 令和6年度国立大学法人運営費交付金等予算案について	(特になし)	
2 基金事業の渉外活動における特別貢献手当の支給に関する要項の制定について	<p>① 他の大学から、最近遺贈が多いという話を聞いたことがある。同窓会のような集まりに配偶者も一緒に招待すると遺贈が増えるとのことなので、筑波大学でもやってみたらよいのではないか。</p> <p>② チームで寄附金を獲得した場合の個人の貢献はどのように特定するのか。</p>	<p>① 承知した。なお、筑波大学でも遺贈の受け入れ実績はある。</p> <p>② 現在は、チームで活動していることはあまりないが、将来的には検討が必要だと思う。</p>
3 開発研究センターの評価結果について	(特になし)	
4 第225回教育研究評議会報告について	(特になし)	

○第144回（令和6年3月27日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 役員等の報酬について	① 重要な役割を担っている監事の報酬が理事よりも低いのはなぜか。	① 役員等については、国家公務員の給与に準拠して設定しているためである。
2 筑波大学における役員の業績勘案率について	(特になし)	(特になし)
3 令和6年度学内当初予算等について	① 資料をみると財政基盤が確実に弱っているように思える。いずれは思い切った対策を講じなくてはいけないのではないか。	① 運営費交付金総額自体は変わっていない中で人件費等の増加も飲み込まなくてはならず、大変厳しい状況である。この先の授業料の在り方について、省庁と話をしているが、授業料を値上げすればその分運営費交付金を減額される可能性もあり、解決策にはならないかもしれない。寄附金・外部資金については強化する予定

	② 国立大学は経済的に苦しい学生のための道であると思うので、できれば授業料は上げないでいただきたい。	としており、本会議後に記者会見を行う。 ② ご意見の通りで、授業料の値上げを行う場合には、奨学金等の支援がセットになる。
4 令和6年度資金繰計画（案）及び資金運用計画（案）について	(特になし)	
5 財産管理規則等の改正について	(特になし)	
6 特令教員の 신설について	① 特令准教授を設ける理由は何か。	① 現在の昇任人事では研究業績が重視されており、定年退職時に准教授であるが、研究以外の要請から業務に従事させたい者がいるためである。
7 国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則の一部改正について	(特になし)	
8 令和6年4月1日付け事務組織等の改組及び改組に伴う法人規則等の一部改正について	(特になし)	
9 職員就業規則等の一部改正等について	(特になし)	
10 学際サイエンス・デザイン専門学群及びマレーシア海外教育拠点支援室設置に係る法人規則等の改正（人事、財務関係）について	(特になし)	
11 令和6年度におけるウクライナからの学生等の支援に関する特	(特になし)	

別措置の制定について		
12 JV-Campus 連携室の設置に伴う法人規則の制定等について	① HP を見ると企業も参加できるようだが、どのように活用されているのか。留学生は日本の企業にも興味があるのではないか。	① 企業は利用料を支払うことで参加できる仕組みになっている。金融関係の企業が大学生向けの金融教育のコンテンツを提供している例がある。
13 サイバーメディスン研究センターの設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について	① ミッション実現加速化経費の対象事業の一つのことだが、人件費はいつから一般の運営費交付金に移行するのか。	① 基本的には学年進行で改組され、事業の評価を踏まえて、次期の運営費交付金において基盤経費化される仕組みとなっている。
14 共同研究における「知的貢献費」の導入について	(特になし)	
15 附属病院における就業規則等の一部改正等について	(特になし)	
16 附属桐が丘特別支援学校における定員変更に伴う筑波大学附属学校校則の一部改正について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和6年度役員・役職教員について	<p>① 男女比率はどうなっているのか。また、女性比率を上げるための取組みを何か実施しているのか。</p> <p>② 日本学術会議でも、かつて女性会員を増やそうという話が出た際に女性からの反発があったが、今では女性会員が随分多くなった。ぜひ、</p>	<p>① 男女比率は昨年と同様の傾向である。女性の役職者を増やすための取組みについては日頃から議論をしているが、女性の教授がほとんどいない分野がある。女性限定の公募については、環境も変わってきているので、来年度改めて検討したい。</p> <p>② 承知した。</p>

	女性の役職者を増やす努力を続けていただきたい。	
2 国立大学法人筑波大学経営協議会学外委員からの提言・質問等に対する大学側の対応・回答について	(特になし)	
3 第226回及び第227回教育研究評議会報告について	(特になし)	